

ループリック

書道科指導法Ⅰ 選択（教職免許科目） 3年生前期

到達目標	・高等学校芸術科書道の教育に必要とされる基本的な理論・内容・授業実践に関わる様々な知識、表現技法、指導案と教材の作成方法・指導場面での発問・個別指導の方法などを身に付けることができる。 ・模擬年間シラバスや後期の模擬授業指導案の作成ができ、教育実習で必要な基本的事項を理解し、それに対する意識を高めることができる。 ・教員採用試験を受験する予定の学生は、専門教養試験の対策を始めることができる。
------	---

		内容 項目	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
1	知識・理解	指導に必要な基本的知識や表現技法の理解	高等学校の教科書に出ている教材の指導に必要な基本的知識と表現技法を十分に身につけ、臨機応変に人に指導できる方法を理解している。	高等学校の教科書に出ている教材の知識は深く、技法も身につけているが、応用力に乏しく人に指導する方法は十分に理解している。	高等学校の教科書に出ている教材の理解は半分程度で、表現技法理解は、書写指導に近い。	高等学校の教科書に掲載されている基本的教材に関する知識が極めて乏しく、表現技法の理解も十分でない。
2	指導計画の作成	現場での長期的な指導計画の理解	母校での模擬年間シラバスを合理的・具体的に作成できる。	母校での模擬年間シラバスをある程度合理的に作成できるが、具体性には欠けている。	母校での模擬年間シラバスを一応作成できるが、内容が合理的・具体的でない。	現場での指導を想像して、長期的視点で模擬年間シラバスを作成できない。
		指導方法の理解と指導案作成	後期の模擬授業で実施予定の単元および、その全時間の指導案が、具体的に完成できる。	後期の模擬授業で実施予定の指導案の概略を作成できているが、具体的な動きは十分に想像できていない。	後期の模擬授業で実施予定の単元に関する指導は完成したが、本時案が未完成である。	後期の模擬授業で実施予定の単元が具体化せず、指導案も自分の力だけでは作成できない。
3	態度・指向性	授業内参加	書道教育に対する関心が極めて高く、積極的に授業に参加し発言をしている。	書道教育に対する関心が高く、熱心に参加しているが、発言が乏しい。	書道には関心が高く熱心だが、教育に関しては関心が乏しい。	書道教育に対する関心が全体に乏しく、熱意もない。
		振り返り	講義内容や自身の授業態度に関して客観的に振り返ることができ、文章表現力も優れている。	講義内容や自身の授業態度に関する内容は振り返ることができたが、それを十分に文章で表現できていない。	講義内容や自身の授業態度に関する振り返りは一応できていたが、十分ではなかった。	授業や自己に関する振り返りがほとんどできていない。